

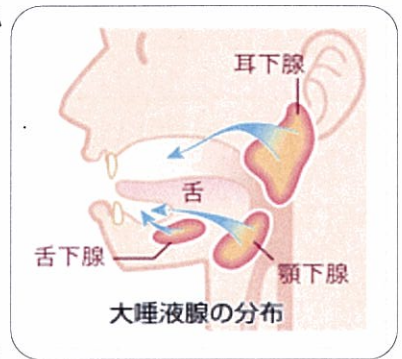
知っておこう！ 唾液の働きと口腔乾燥症

最近咬む事の重要性が認識されるとともに、唾液の大切さが見直される傾向にあります。

唾液とは大唾液腺（耳下腺・顎下腺・舌下腺）と無数の小唾液腺から分泌される液体です。一日の総分泌量は1~1.5リットルにもなります。

唾液の働きには主に次の項目が挙げられます。

- | | |
|---------------------|-----------|
| ①物を液状にして飲み込みやすくする作用 | ⑤歯の再石灰化作用 |
| ②粘膜修復作用 | ⑥免疫作用 |
| ③自浄作用 | ⑦粘膜保護作用 |
| ④消化作用 | ⑧抗菌作用 |



唾液量の減少により次のような症状が現れます。抗菌作用や自浄作用の低下による口の中のネバネバした不快感、口臭、歯の再石灰化作用などの低下による虫歯の発生、加えて免疫作用が損なわれることによる歯周病の進行等があります。

唾液の減少が重度になると、舌の痛み（舌痛症）、嚥下障害、発音障害などが起こります。

また口の中が乾燥することで入れ歯による傷ができやすくなったり、治りが遅くなることもあります。

これらの症状を合わせて「**口腔乾燥症**」と言います。

原因は「基礎疾患に関連するもの」「薬物に関連するもの」

「精神や神経に関連するもの」「唾液腺そのものの障害・疾患」です。

検査による通常の唾液分泌量は10ml/10分以上、これが10ml以下になると口腔乾燥症と定義されます。

口腔乾燥症そのものへの対応はというと、

1. 唾液の量を増やす方法

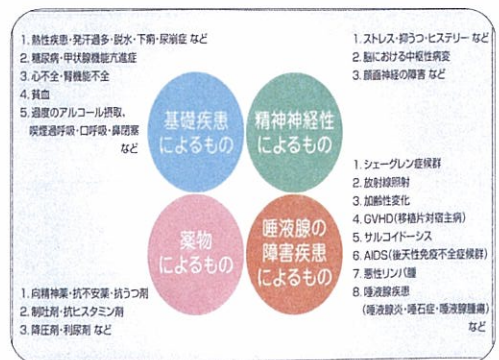
シェーグレン症候群や放射線治療に伴う口腔乾燥症に適応して薬剤を使用する方法です。

2. 唾液腺を刺激する方法

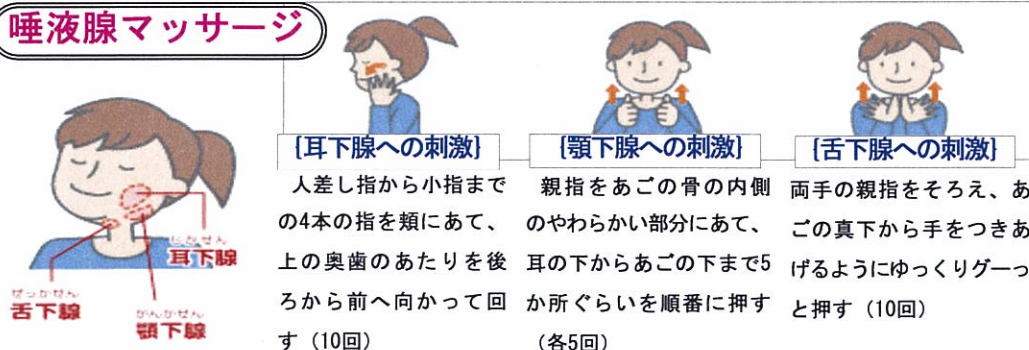
口腔周囲筋をマッサージしたり、動かすことによって唾液腺を刺激する方法です。

3. 粘膜への保湿剤を使用する方法

保湿剤、保湿ジェル、保湿スプレー、保湿シートなどがあります。



唾液腺マッサージ



ここでは、自分でも簡単にできる唾液腺マッサージの紹介をします。

このマッサージにより唾液が出るようになるので口腔乾燥症の方だけでなく、口腔乾燥症の予防にも役立ちます。

現代社会では柔らかい食べ物が中心となり、ゆっくり噛んで食事をするのが減ってきました。それにより、唾液の量も減量してきていることが考えられています。よく噛んでしっかり唾液を出すことで口の中だけでなく、体全体の健康にも繋がっていくことでしょう。



森永太院長、ITI (International Team for Implantology) 国際的なインプラント学術組織のメンバーの一員となる

1980年、スイスのベルン大学を中心とする様々な分野のエキスパート12人によって設立されたInternational Team for Implantology (以下ITI) は設立以来、インプラント関連分野の教育や研究を通し、患者さんならびに社会に貢献するという基本理念を追求しつづけた結果、現在ではインプラント歯科分野における国際的な学術組織にまで成長を遂げた。

日本からはこれまで24名がITI Fellowメンバーとして登録されていたが、この度森永院長が日本人として25人目のITI Fellowメンバーに就任した。

年に1回、主にヨーロッパで開催されるITI Fellow国際会議に出席する責務の他、地域におけるインプラント医療のリーダーとしての役割が求められる。院長のますますの活躍を期待したい。

現在のITI理事会メンバー



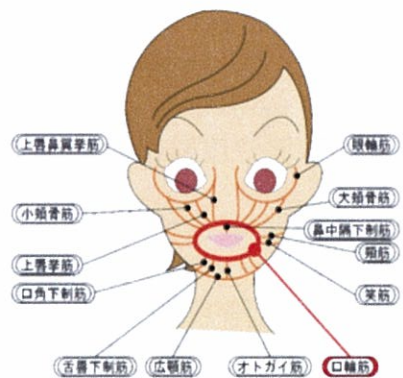
ITI 理事会メンバー。左から Stephen Chen 氏(オーストラリア)、Hideaki Katsuyama 氏(日本)、Gerhard Wahl 氏(ドイツ)、Pedro Bullón 氏(スペイン)、Daniel Buser 氏(スイス)、Thomas Taylor 氏(米国)、Gilbert Achermann 氏(スイス)、Beat Spalinger 氏(スイス)、Dieter Weingart 氏(ドイツ)、Hans-Peter Weber 氏(米国)、Anthony Dickinson 氏(オーストラリア)

お口の 第9回 不思議

「あなたの若さは口元から！」

喜怒哀楽などを表わす豊富な表情は人だけに備わった大きな特徴で、顔の皮膚の下にある約30種類の表情筋の働きによるものです。

さまざまな表情の中心となるのはやはり「口」で、口の周りだけでも、唇を作っている口輪筋の他、頬筋、オトガイ筋など12種類の表情筋があります。こうした表情筋も他の筋肉と同じように年と共に衰え、たるんできます。若さを保つには、いつもイキイキと表情豊かに表情筋を鍛えることが大事です。



診療内容紹介

科 目 一般歯科・小児歯科
矯正・口腔外科
診療時間 (平日) 午前9:00～午後1:00
午後2:30～午後6:00
(土曜) 午前9:00～午後1:00

